



概要

- [概要 \(1 ページ\)](#)

概要

Cisco Nexus 9332D-GX2B スイッチ (N9K-C9332D-GX2B) は 1 ラックユニット (RU) で、データセンターでスパンリーフ APIC 展開用に設計された固定ポート スイッチです。

このスイッチには次のタイプのポートがあります。

- 400 ギガビット QSFP-DD ポート (32)
- 10 ギガビット SFP+ ポート (2)
- 管理ポート (1 個の 10/100/1000BASE-T ポートと 1 個の SFP ポート)
- コンソール ポート (RS-232)
- USB ポート



- (注)
- 8 ポートで MACsec が有効になっている場合、高出力 (12W 以下) の光ファイバは使用できません。
 - MACsec が 4 つのポートで有効になっている場合、高出力 (12W 以下) の光ファイバで 4 つのポートを使用できます。
 - MACsec が有効になっていない場合は、高出力 (12W 以下) の光ファイバで 8 つのポートを使用できます。

このスイッチのデフォルト ポートプロファイル情報 :

- デフォルト ポート プロファイル (リーフ) : 24 個のダウンリンクと 8 個のファブリックリンク+ 2x1 / 10 G ダウンリンク

リーフ/スパイン ロールの考慮事項 :

- このスイッチのデフォルト ロールは、リーフ スイッチとしてのロールです。
- デフォルトのファブリックリンク（ポート 25-32）は、別のスイッチ経由で最初のスイッチ検出に使用する必要があります。
- スイッチをデフォルトのロールから変更するには、次の手順を実行する必要があります。ノードはファブリック インベントリ ビューで検出されたデバイスとして表示され、スイッチのロール（スパインまたはリーフ）を設定する必要があります。スイッチは自動的に再起動します。構成されたロールでアップします。
- デフォルトのスパイン（つまり、Nexus 9316D-GX などのデフォルトでスパインであるデュアルロール スイッチ）を APIC に直接接続する場合、リーフへのロールの変更は、再起動と同様に APIC によって自動的に実行されます。その後、「登録保留中のノード」にノードが表示されますので、ノードを登録する必要があります。

ディスカバリの考慮事項：

- APIC 経由の検出：デフォルトのダウンリンク ポートを使用します。
- スパイン ディスカバリ – デフォルト ファブリックリンク（ポート 25-32）を使用し、スイッチをスパインに変換します（再起動が必要です）。
- スパイン経由のリーフ ディスカバリ – デフォルト ファブリックリンク（ポート 25-32）を使用します。
- リーフ経由のサブリーフ ディスカバリ – デフォルト ファブリックリンク（ポート 25-32）を使用します。
- IPN によるマルチポッド（ポッド 2+）の最初のスパイン検出 – IPN をデフォルトのファブリックリンク（25-32）のいずれかに接続します。スパインに少なくとも1つのリーフノードが接続されていることを確認します。

このスイッチには、次のユーザによる交換が可能なコンポーネントが含まれています。

- 次のエアフローを選択できるファン モジュール（6 個）
 - 青色のカラーリングが付いたポート側排気ファンモジュール（NXA-SFAN-35CFM-PE）
 - 赤紫色のカラーリングが付いたポート側吸気ファン モジュール（NXA-SFAN-35CFM-PI）
- 電源モジュール¹次の選択肢がある電源モジュール（2 個：動作用に 1 個、冗長性のため 1 個（1+1））
 - 青色のカラーリングが付いた 1500-W ポート側排気 AC 電源モジュール（NXA-PAC-1500W-PE）
 - 赤紫色のカラーリングが付いた 1500-W ポート側吸気 AC 電源モジュール（NXA-PAC-1500W-PI）

¹ 追加の DC 電源オプション（NXA-PDC-1100W）は、限られた可用性でサポートされる場合があります。



(注) すべてのファンモジュールと電源モジュールは、エアフロー方向が同じでなければなりません。



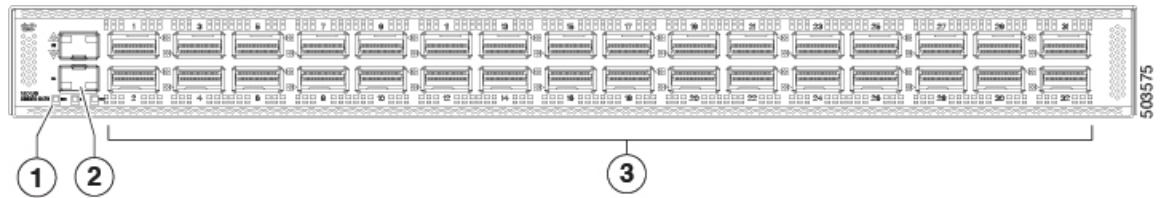
(注) 各ファンモジュールには2個のローターがあります。いずれか1つのファンモジュール内の1個のローターに障害が発生した場合、スイッチは通常通りに動作します。1個以上のローターに障害が発生した場合、スイッチは警告を発し、2分間電源がダウンします。

次の図に、このスイッチの各ポートの電力制限（ワット）を示します。空気の方向はポート側排気で、周囲温度は28℃未満です。

12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	15	15	15	15
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	20	20	20	20

503241

次の図は、シャーシのポート側のスイッチ機能を示します。

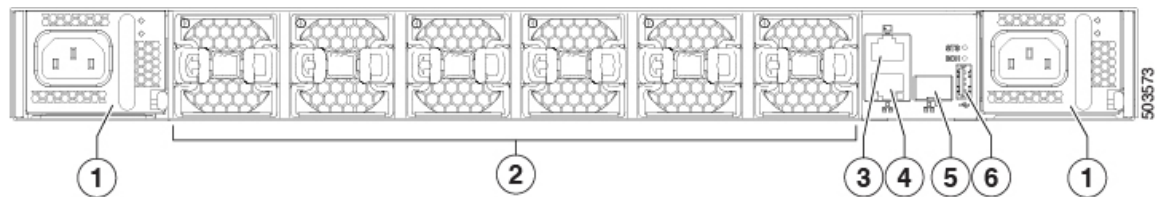


503575

1	LED	3	400 ギガビット QSFP-DD ポート (32)
2	10 ギガビット SFP+ ポート (2)		

このスイッチでサポートされるトランシーバ、アダプタ、およびケーブルを確認するには、『Cisco トランシーバモジュール互換性情報』を参照してください。

次の図は、シャーシの電源モジュール側のスイッチ機能を示しています。

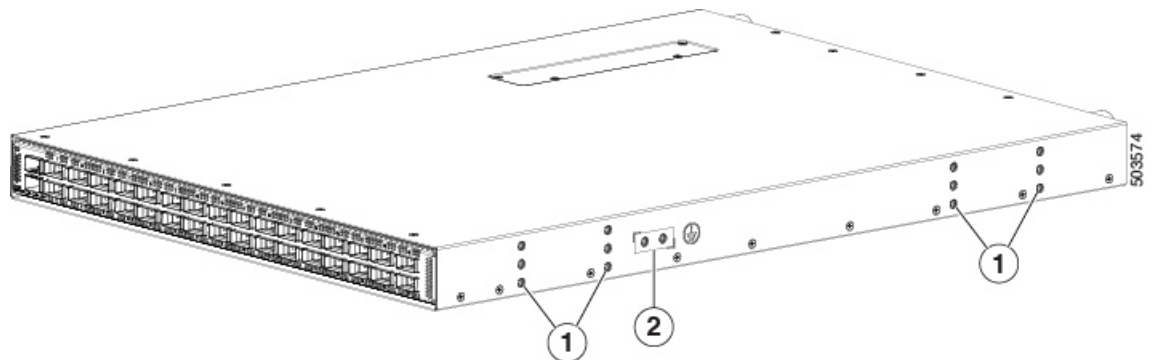


503573

1	1 (左) および2 (右) の番号が付いたスロットがある電源モジュール (1 個または2 個) (図は AC 電源モジュール)	4	管理ポート (RJ45)
---	--	---	--------------

2	1 (左) ~ 4 (右) の番号が付いたスロットがあるファンモジュール (6)	5	管理ポート (SFP)
3	コンソールポート	6	USBポート

次の図は、シャーシの側面を示します。



1	取り付けブラケットのネジ穴	2	アースパッド
---	---------------	---	--------

ファンと電源モジュールは現場交換可能です。他のモジュールが取り付けられて稼働している限り、動作中にファンモジュールまたは電源モジュールを1個交換できます。取り付けられている電源モジュールが1個だけの場合、元の電源モジュールを取り外す前に空きスロットに交換用の電源モジュールを取り付けることができます。



(注) ファンと電源モジュールはすべて、同じエアフロー方向になっていなければなりません。そうでない場合、スイッチが過熱しシャットダウンする場合があります。



注意 スイッチにポート側吸気エアフロー（ファンモジュールの場合は赤紫色のカラーリング）がある場合、ポートはコールドアイルに配置する必要があります。スイッチにポート側排気エアフロー（ファンモジュールの場合は青色のカラーリング）がある場合、ポートはホットアイルに配置する必要があります。空気取り入れ口をホットアイルに配置すると、スイッチが過熱しシャットダウンする場合があります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。